

日 時：令和3年10月21日（木）18時30分～19時30分

場 所：広船地区構造改善センター

対象地区：広船

参加人数：8名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○空家対策について</p> <p>（市民から）</p> <p>空家対策について、進展があったものがあれば教えていただきたい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・広船地区では8軒の空家を把握している。1軒については、所有者に確認したところ、使用しているとのことだったので、管理するようお願いした。損壊が激しいものは2軒あり、所有者に連絡をとり対策をお願いしている。 <p>（市民から）</p> <p>危険なものについては、強制的に撤去できないのか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・決められた手続きを経ることで、強制的に撤去することは可能。現在どの段階まですすんでいるかについては、確認してお知らせする。・強制的に撤去するとしても、税金が使われることになってしまい、費用が回収できなくなるおそれもある。撤去費用を補助するなど、自分で撤去する方向に進むような制度も整備している。
<p>○新館野木和線の拡幅工事について</p> <p>（市民から）</p> <p>新館野木和線の拡幅工事について現在の進行状況を教えていただきたい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・現在、用地買収の交渉を進めているところである。
<p>○プレミアム付飲食・交通券について</p> <p>（市民から）</p> <p>販売の状況について教えていただきたい。</p> <p>（市から）</p>

・昨年度に引き続き、今年度も販売している。券を使用できる参加店も増えているが、新型コロナウイルス感染症の影響によって飲食店での飲食を自粛する傾向もあるとは思いますが、約 12,500 冊が販売されている。大きく影響を受けている、観光、宿泊業や飲食店を支援する経済対策は、今後も実施していこうと考えている。

○新型コロナウイルスワクチンの 3 回目の接種について

(市民から)

いつごろの接種開始を予定しているか。

(市から)

・2 回目の接種を終えてから、8 か月以降に接種するものと聞いている。来年の 2 月ごろになるのではないかと。ワクチンの供給状況にも左右されるが、関係機関と連携しながら取り組んでいきたい。

○新本庁舎のカフェスペースについて

(市民から)

新本庁舎にはカフェスペースがあると聞いたが、食事がとれる場所もあるのか。

(市から)

・新本庁舎 4 階の、岩木山を正面に眺めることができる展望スペースにカフェスペースが整備され、自動販売機が設置される予定である。休日や夜間も利用できるようにしたいと考えており、テーブルや椅子も設置するので、市民の憩いの場として活用していただきたい。

・今後需要があれば、業者を入れて飲食できるようにすることもできるが、市内の他の業界への影響も考えなければならない。

○市職員の農作業アルバイトについて

(市民から)

先日、農家の人材不足解消のため、弘前市職員が農作業のアルバイトを兼業できるようになったとの報道を見た。平川市では検討しないのか。シルバー人材センターの会員も高齢化が進んでいるという事情もある。

(市から)

・農家が人材、後継者が不足していることは把握しており、市として取り組まなければならない問題のひとつと考えている。人材の確保については、これまでも様々な取り組みを行ってきたが、効果は見られていない。

・公務員は本来兼業が認められていないことから、兼業を認めるとすれば、利害関係の把握などについて、これから検討することになる。

- ・農家の実情を感じてもらうため、今年から農作業体験を新採用職員の研修に組み込んで実施している。

〇りんごの高密度植栽培について

(市民から)

高密度栽培を始めようとしても、苗木が手に入りにくい。また、補助事業を申請しても、多くの苗木が必要となるため、その購入費用だけに補助金を費やすことになり、資材は自費となってしまう。こういった状況について、市で支援することはできないか。

(市から)

- ・高密度植栽培については、苗木が手に入りづらいこと、多くの苗木が必要となるため、多くの費用を要することが問題であると考えている。しかし、これらを支援することは、高密度植栽培を手掛ける方の個人の事業の増収を支援するという意味合いが強くなってしまい、公平性の点を考えると難しい。